

視聴覚教育

NO. 459
(特別号)
発行日

R2. 9. 15

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ Teams メンション機能

Teams のメンション機能では、チャットの書き出しに「@名前」と入力すると、その書き込みをメールでその人に通知をすることが出来る。「@team」で全員にも通知できる。メンションすることで、書き込みをメールで知らせることができ、情報の見落としが減る。

Myタブレットは学びの道具、

子供たちの心を育てたい
学習情報指導員 河合 泰宏

授業後にカメラのシャッター音が連続で聞かれた。社会科の授業の一コマである。子供たちがMyタブレットのカメラ機能を使い、板書を撮ってOneNoteに貼り付けている。OneNoteとはノート機能のあるアプリである。貼り付けた板書の歴史上の人物に矢印を引いて、本時の学びを自分のコメントとして付け足している。従来のノート利用から発展させた使い方といえる。ノート利用だけではない。子供一人一人にMyタブレットが配付されたことによって、子供たちの学び方は大きく変わる可能性をもつ。

それでは、学び方の変化に対して、教え方の変化も必要なのだろうか。私は、Myタブレットが導入されても、岡崎の教育が大切にしていた問題解決学習の基本的な流れは変わらないと考える。教師がカメラ機能と、OneNoteに画像を貼り付けられることを説明しただけで、子供は授業後に自らノートに学びを整理する姿を見せた。これは、課題解決のために、必要な情報をまとめる学習活動の一つに過ぎない。Myタブ

レットは、学びの道具である。実際に授業でMyタブレットを利用してほしい。そうすると先生方は、子供が進んで楽しく学びに向かう姿を目の当たりにして、そのよさを実感するだろう。

しかし、その先にトラブルがあるのではないかと心配する先生方も多い。「仲間のプライベート写真を拡散してしまうのではないか」「破損したり、盗まれたりしないのだろうか」「確かに心配はつきない。道具である以上、利用する子供たちの心の在り様が使い方に反映する。しかし、それはMyタブレットだけに限ったことではない。目の前の子供たちに、仲間のことを思いやる心があつたのか。自分や学級、学校のことを大切に扱っていたのか。つまるところ、子供たちにモラルがあるかどうかの問題であつて、Myタブレットのあるなしが問題ではない。

Myタブレットは学び方を変えるための道具である。使い方を工夫すれば、学びを深めることもできる。そのよさを子供が実感すれば、Myタブレットを善用することよりも学びに活用することに喜びを感じるであろう。「仲間が作った資料を見て調べたい」「気になったことをくわしく学びたい」Myタブレットを主体的な学びの道具として使う子供の姿を目指したい。

ライブライブラリーだよ

第18回「ふるさと岡崎

メディアコンクール」の御案内

ビデオ、マルチメディア教材の自主制作振興や、優秀作品を収集し学校教育・社会教育に活用する目的で「ふるさと岡崎メディアコンクール」を今年度も開催します。先生方や児童・生徒の皆様、ふるってご応募ください。

・募集期間

令和2年10月1日(木)～11月30日(月)
※巡回郵便や持参、郵送で受付。最終日消印有効。

・応募先

岡崎市視聴覚ライブラリー
〒441-8601 岡崎市菅生町1-3-1

・募集部門

- (1)生涯学習部門
- (2)学校教育教材部門
(先生方が制作した教材作品)
- (3)休業期間中にHPにアップした動画も可
(児童生徒作品部門
(児童生徒が主となり制作した作品))

・応募条件

- ★テーマ 自由(生涯学習、学校教育に適したもの。公序良俗に反しないもの)
- ★一作品15分以内
- ★作品は応募者の自作であること。
- ★著作権処理については、制作者の責任において全てクリアしておくこと。
- ★他コンクール応募作品も可(ただし入賞作品は入賞の対象としない)

※募集要項や応募用紙は視聴覚ライブラリーのHP (<https://www.oavl.jp/>) に掲載。

